

かわさき宙(そら)と緑の科学館 —青少年科学館—の開館

(平成24年4月28日)



青少年科学館は、自然豊かな生田緑地の一面に昭和46年に開館し、プラネタリウムのほかに多摩川や多摩丘陵の自然をテーマとした博物館として展開してきました。

議会では、これまで展示内容の充実や青少年科学館を拠点として活動するボランティアのサポート体制の整備・拡充、また、老朽化による施設の建て替えなど、様々な角度から議論が続けられてきました。

<議会での審議経過と市の取り組み>

【平成15年第3回定例会（7月）】

質問

メガスターⅡ（※1）が、渋谷の東急文化会館で投影され、大盛況だったと報道されていました。川崎市出身で小さい頃から青少年科学館に通い、プラネタリウムを見て育った天文愛好家が製作したメガスターⅡの投影をぜひ青少年科学館でも早い時期に実現できないでしょうか。

答弁

メガスターⅡは、製作者がリアルな星空を投影するプラネタリウムをつくりたいという子どもの頃からの夢を実現させた投影機です。このような背景を持つ投影機の導入は、教育的にも意義のあることであり、今後、製作者などと協議をしていきたいと考えています。

取り組みとしては・・・

平成15年11月から、メガスターⅡの常設投影を始めました。

平成24年4月には、さらにクリアな星を映し出すメガスターⅢフュージョンが、かわさき宙（そら）と緑の科学館のために新開発され、グランドオープンに合わせて導入されました。

雲のように見える天の川も、ひとつひとつの星から映し出しています。

メガスターⅢフュージョン



【平成17年第4回定例会（12月）】

質問

青少年科学館には、自然調査等を行う市民ボランティアの活動室や博物館資料の収蔵場所が不足し、また、雨の日には学校団体等が昼食をとるための場所がありません。できるだけ速く改善すべきと思いますが。



答弁

青少年科学館の改築は、総合計画（※2）の中の実行計画において、本年度から調査検討を行うこととなっています。子どもから大人まで、宇宙や自然に触れることができ、夢をはぐくむことができる自然系博物館を目指し、早期に着工できるよう、計画スケジュールを協議しています。

取り組みとしては・・・

- 平成20年11月に「青少年科学館改築基本計画」が、策定され、改築が決定しました。



1階展示室

- 2階の学習室は、雨の日のお弁当会場としてご利用いただけます。（申込み必要）また、1階には、レストスペースとして、カフェテリアがあります。



カフェテリア

【平成23年第5回定例会（12月）】

質問

今後、改築整備が行われると、利用者の増加が期待されますが、マスコットキャラクターの活用を含め市内外への周知、また、生田エリアのシティセールスをどのように考えていますか。

答弁

ポスターを公共交通機関に掲示するほか、新たに作成したマスコットキャラクターを広報活動で積極的に活用して、周知を図ります。また、生田緑地内の各施設をはじめ、地元商店街等との連携による相乗効果により利用者の増加を図り、生田緑地全体の魅力発信、観光振興に寄与していきたいと考えています。

取り組みとしては・・・



- マスコットキャラクター「かわさきぶりん」ちゃん

頭は自然豊かな生田緑地の地層を、身体はプラネタリウムをモチーフにしています。一般募集して1, 124点の中から選ばれました。

- 「生田緑地ホームページ」を開設し、生田緑地と各施設の魅力を一体的に発信しました。



<http://www.ikutaryokuti.jp/>

- 開館を記念し、地元商店等と市が連携して、地元大学の学生と地ビールやお菓子などの商品企画、パッケージデザイン等を行いました。



【平成24年第1回定例会（2月）】

質問

近隣にオープンした藤子・F・不二雄ミュージアムの来館者に多摩区役所が行ったアンケートによると、来場者の73.5%が「どこにも立ち寄りなかった」と回答しています。回遊性を考えて、青少年科学館、岡本太郎美術館、日本民家園などをセットにしたチケットを発行してはどうでしょうか。

答弁

生田緑地内の情報を効果的に提供し、ミュージアムの来館者が生田緑地内の各文化施設を利用できる優待サービスなどの検討を進めています。



日本民家園



かわさき宙と緑の科学館



岡本太郎美術館



藤子・F・不二雄ミュージアム

取り組みとしては・・・

開館記念として、プラネタリウムの年間パスポートの発売や、藤子・F・不二雄ミュージアムの半券でプラネタリウム、岡本太郎美術館、日本民家園の観覧料・入園料が2割引となるサービス、また、かわさき宙と緑の科学館、岡本太郎美術館、日本民家園のうち1施設の半券で他の2施設の観覧料・入園料が2割引となるサービスを試行的に実施しています。



※実施期間がそれぞれ異なりますので、必ずホームページ等で確認してください。

かわさき宙（そら）と緑の科学館（川崎市青少年科学館）

【開館時間】

9時30分～17時

（プラネタリウムの投影時間はホームページ等で確認してください。）

【休館日】

毎週月曜日

（祝祭日の場合は開館、翌火曜日は休館）

祝祭日の翌日（土日の場合は開館）

【交通アクセス】

小田急線 向ヶ丘遊園駅南口から徒歩約15分

JR南武線 登戸駅から徒歩約25分

住所：川崎市多摩区枳形7-1-2

電話：044-922-4731

ホームページ：<http://www.nature-kawasaki.jp/index.html>



<用語の解説>

※1 メガスターⅡ

市内在住の大平貴之氏が独力で開発・製作したプラネタリウム「メガスター」の後継機。平成15年当時、世界で最も多くの星を映し出すことができるプラネタリウム投影機でした。

※2 総合計画

新総合計画・川崎再生フロンティアプラン。平成17年策定。「基本構想」と「実行計画」の2層構造としており、「基本構想」は、これから川崎市が進めるまちづくりの基本方針として、市政運営や政策の基本方向を掲げる具体性を持った10年程度の構想とし、「実行計画」は、基本構想に基づく施策の具体的な取組内容及び目標を明示した3か年の計画としています。